

4. 仕事と家庭、地域・個人の生活の両立について(2/2)

(9) 社会活動をしている人の割合

「参加している」+「時々参加している」を合わせると、社会活動に参加している人の割合は44.0%で、平成12年度からの経年推移を見ると減少が続いている。

※(1)「参加している」+(2)「時々参加している」・・・参加している

(3)「ほとんど参加していない」+(4)「全く参加していない」・・・参加していない
と読み換えます。

- 男性10代・・・「参加している」(50.0%)と「参加していない」(50.0%)が同数。
- 男性20代、30代・・・「参加していない」方が多い。(20代 60.0%、30代 60.6%)
- 男性40～60代・・・「参加している」方が多い。(40代 52.1%、50代 45.8%、60代 65.8%)
- 女性10代～30代、50代・・・「参加していない」方が多い。
(10代 60%、20代 80.5%、30代 58.2%、50代 54.4%)
- 女性40代、60代・・・「参加している」方が多い。(40代 51.0%、60代 58.3%)
- 「参加していない」が最も多いのは、男性30代(60.6%)と女性20代(80.5%)である。

(10) 社会活動の種類

●総計では町内会・自治会などの地域活動(67.2%)、スポーツ・趣味・教養などの趣味の活動(41.9%)が上位2位を占める。

●年代別に見ると、10～20代ではスポーツ・趣味・教養などの趣味の活動が多くなっており、30代以降になると町内会・自治会などの地域活動に参加する人の割合が増える。
また、女性は30～40代でPTA活動、青少年グループの世話など青少年の健全育成活動に参加する人の割合が増える。

(11) 社会活動に参加しない理由

●総計では、「仕事が忙しい」(35.6%)、「活動に関心がない」(20.8%)が半数以上(56.4%)を占める。

●また、特に女性に多く見られる理由として「家事・育児・介護で忙しい」が見られる。

●(9)で特に社会活動に参加している人の割合が低かった男性30代は、「仕事が忙しい」(45.9%)が最も多くなっており、また、女性20代は「活動に関心がないから」(32.4%)が最も多いが、「仕事が忙しい」(18.9%)、「一緒に参加する仲間がいない」(16.2%)も高い割合を占めている。

(12) 仕事と家庭、地域・個人の生活の両立に必要なこと

上位3位

総計: 育児・介護休暇を利用しやすい職場環境の整備(65.9%)

保育施設や介護サービスの充実(47.8%)

労働時間の短縮・有給休暇の促進(45.7%)

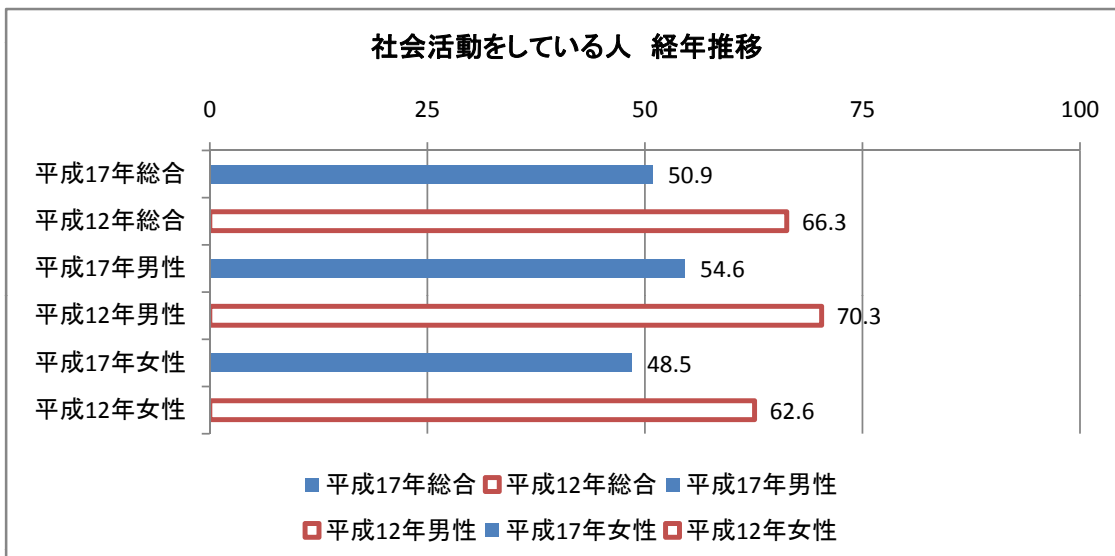
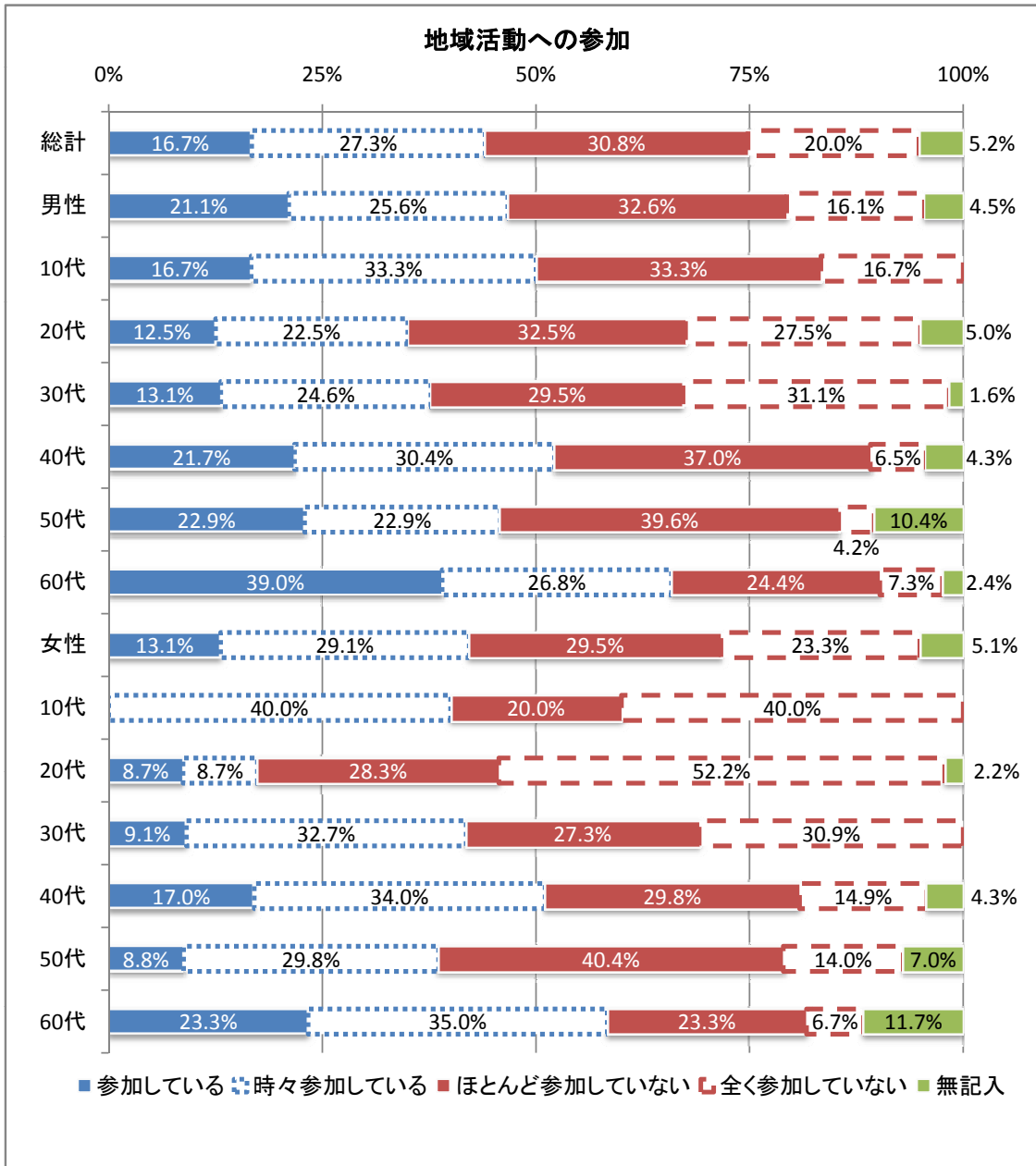
男性: 育児・介護休暇を利用しやすい職場環境の整備(64.4%)

労働時間の短縮・有給休暇の促進(45.3%)

保育施設や介護サービスの充実、賃金・仕事内容等労働条件での男女格差の解消(44.9%)

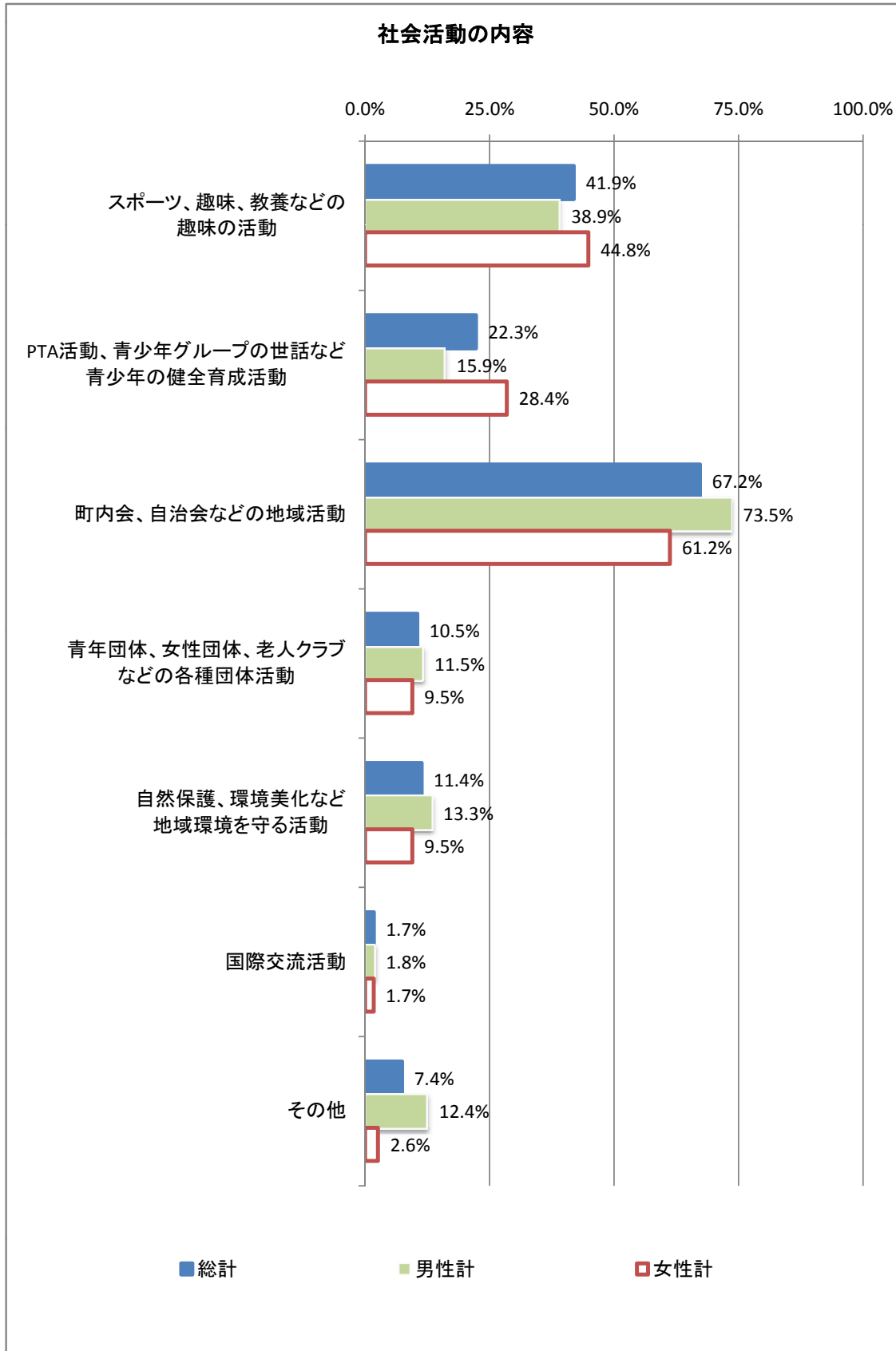
女性: 総計と同じ(上位から順に 67.7%、50.6%、46.5%)

(9) 地域活動への参加について(N=520)



(10) 参加している活動の内容 (N=229 複数回答)

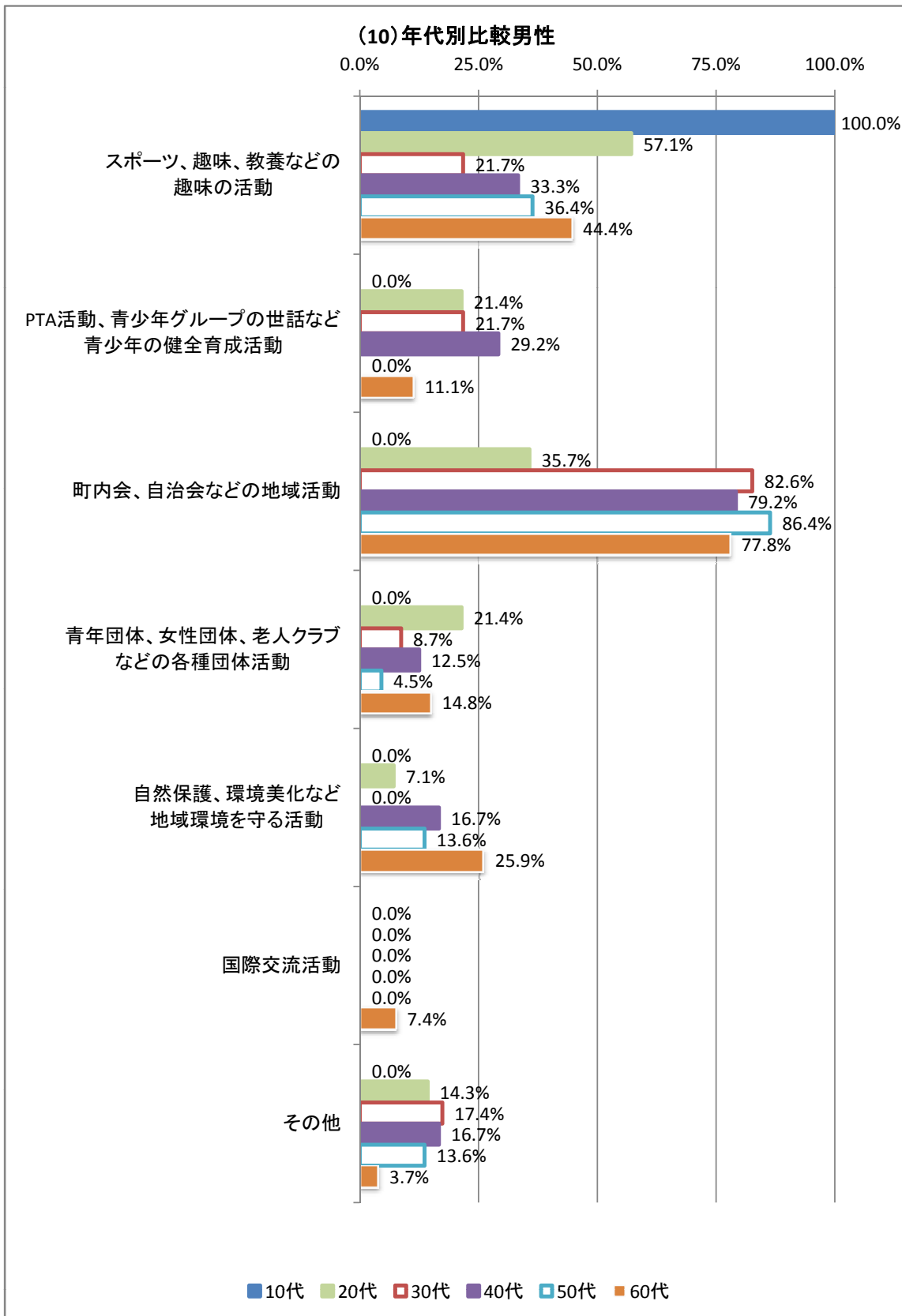
※(9)で「参加している」、「時々参加している」と回答した人対象

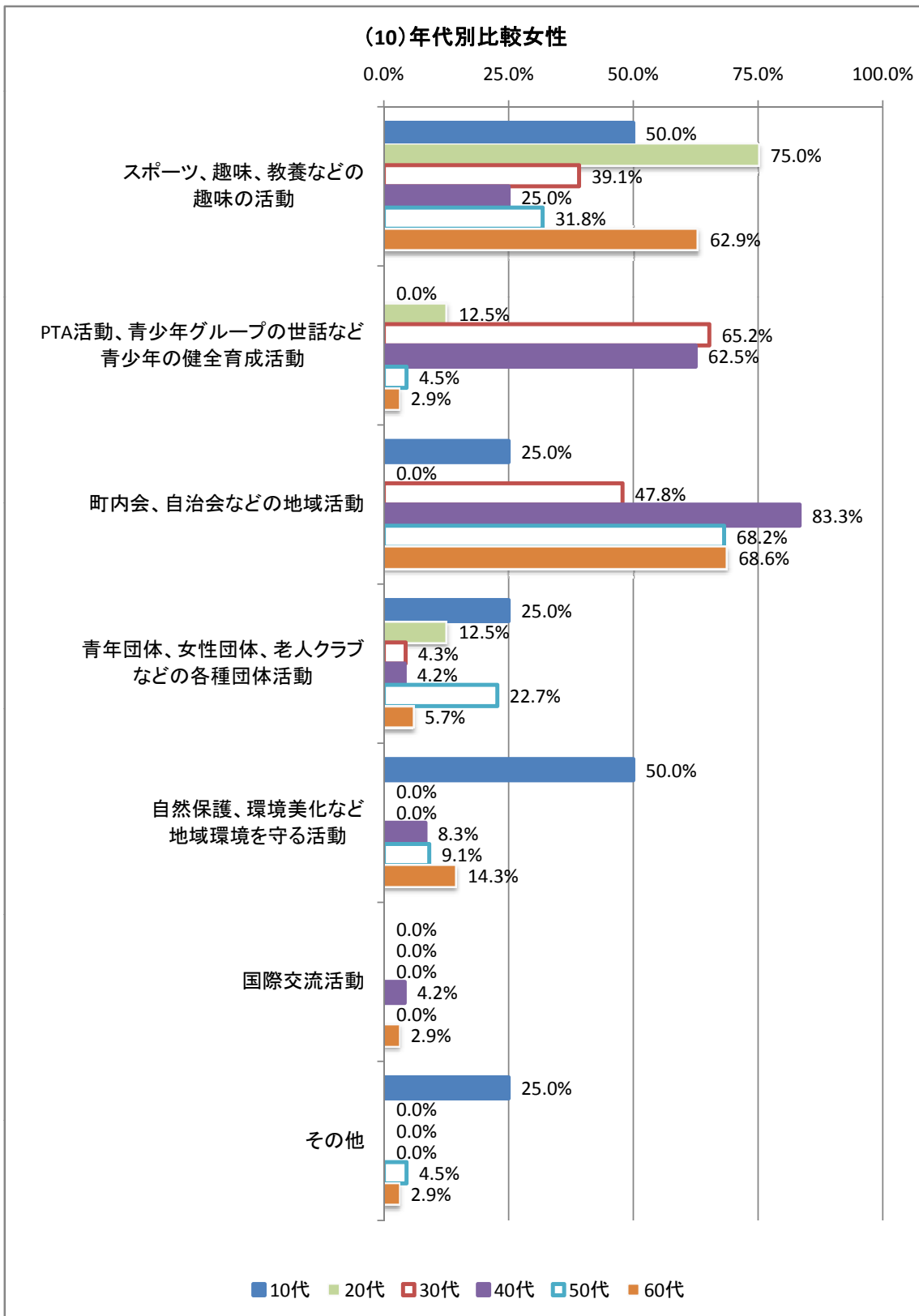


問10(7)その他

・その他の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の標記に従った。また、判読できない文字は「○」と表記した。

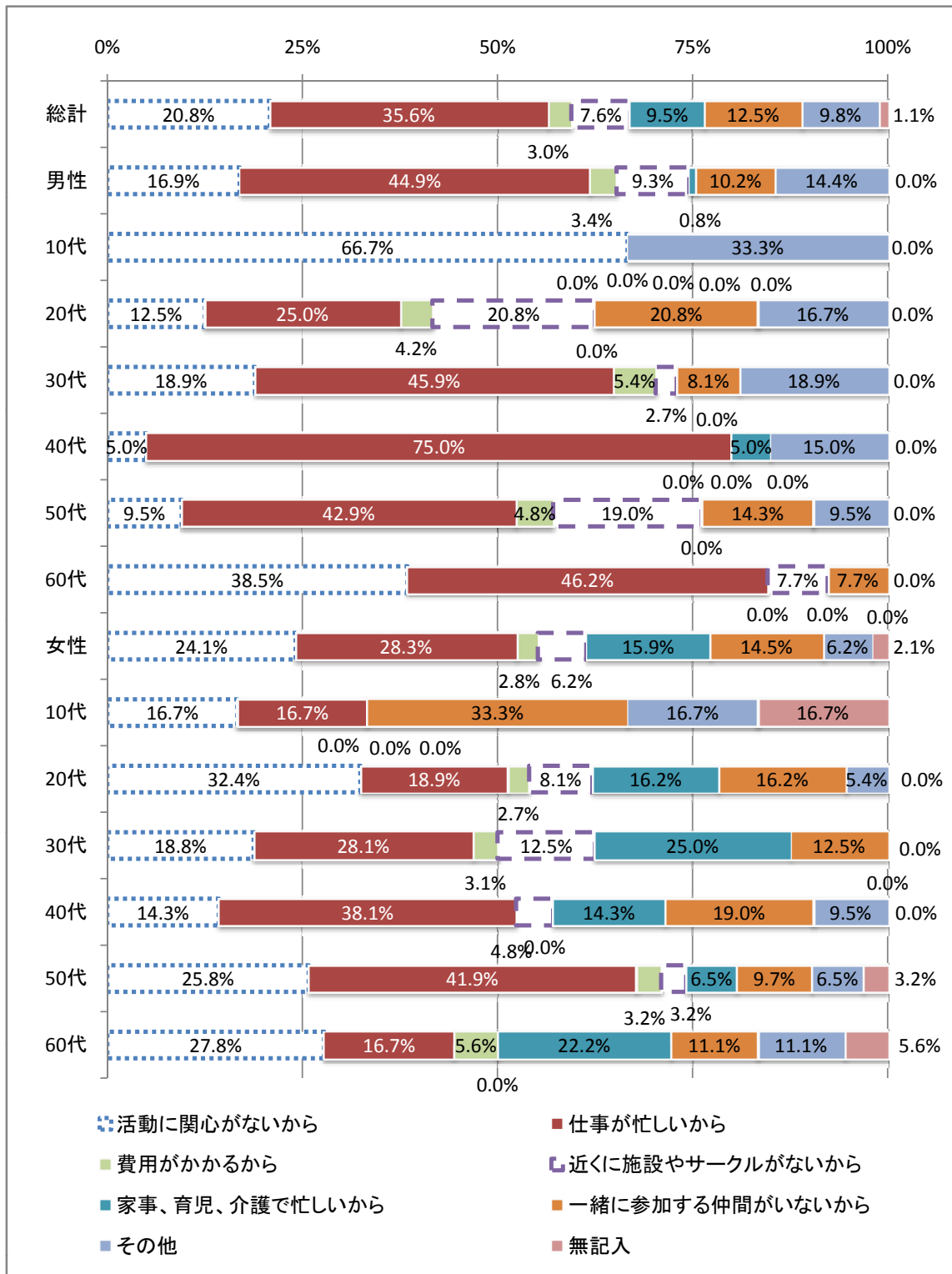
1. 男性20代 学会・技術者団体
2. 男性20代 消費活動
3. 男性30代 消防団
4. 男性30代 郷土芸能(太鼓)
5. 男性30代 消防団
6. 男性30代 労働組合活動
7. 男性40代 毎週毎週日曜日行事があつてこまっていゐる事実
8. 男性40代 スポーツ活動
9. 男性50代 芸能(鬼剣舞)
10. 男性50代 消防団
11. 男性50代 農業関係組織会議
12. 男性60代 社会福祉ボランティア
13. 女性10代 小中学校でのボランティア
14. 女性50代 倫理法人会
15. 女性60代 調停委員





(11) 社会活動に参加しない理由 (N=264)

※(9)で「ほとんど参加しない」、「全く参加しない」に回答した人対象

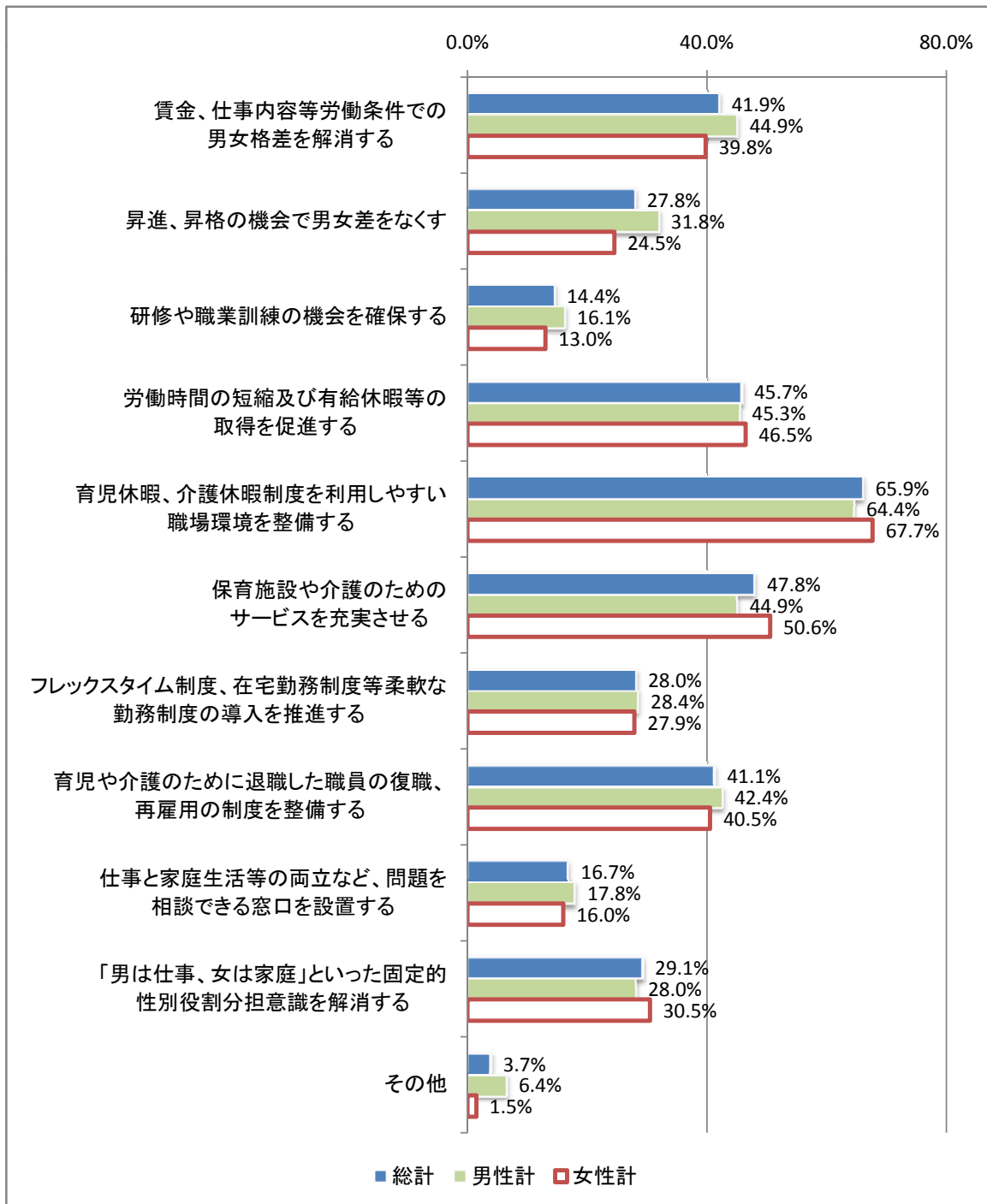


問11(7)その他

・その他の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の標記に従った。また、判読できない文字は「○」と表記した。

1. 男性10代 学生のため
2. 男性20代 自分の時間のため
3. 男性20代 情報がないから。
4. 男性20代 大学の部活に所属しているから。
5. 男性20代 情報を探す手段がわからないためです。
6. 男性30代 地域活動が見えてこない、活動状況が不明
7. 男性30代 きっかけやタイミングがないから。
8. 男性30代 貸家なので広報がこない。
9. 男性30代 不必要に他人と関係をもちたくない。
10. 男性30代 活動時期がわからない、休みがあわない。
11. 男性30代 社会的な活動の情報がない。
12. 男性30代 もともとここで生まれ育った訳でないので行事に参加することによっていろいろ押し売りやら役員等を押し付けられそうだから不安。
13. 男性40代 週末は帰省するから
14. 男性40代 土、日休日ではないため、参加していない
15. 男性40代 何があるのかわかっていない。
16. 男性50代 個人を優先する結果、割く時間がない。又はその時間でできる活動を探さない。地域活動は役員改選で放免中。
17. 男性50代 単身で参加が難しい。
18. 女性10代 出来るような環境にいないから
19. 女性20代 情報がない。
20. 女性20代 存在を知らない。
21. 女性40代 以前は様々な活動をしていたが、今は気持が薄らいでしまった。
22. 女性50代 病気をしてから、仕事を辞め趣味活動やボランティアなども中止している状態です。家庭内でも手のかかることが多く、通院しながら何とか頑張っています。
23. 女性50代 以前住んでいた所では社宅でも地域の役割分担や行事への参加呼びかけがありましたが、アパートに引っ越してからは、地区の行事の参加呼びかけもない為、参加しにくい状態です。
24. 女性60代 時間が合わない。

(12) 仕事と家庭、地域・個人の生活の両立に必要なこと(N=520 複数回答)



問12(11)その他

・その他の内訳は、誤字を含め可能な限り原本の標記に従った。また、判読できない文字は「○」と表記した。

1. 男性20代 両立はない。なにか対策をとって両立できるほど人間は器用ではない。
2. 男性20代 男は"働かせてもらっている"という意識を持つ。
3. 男性20代 相互理解
4. 男性20代 北上に、とりあえず仕事をできる場所をもっとふやしてからこういうアンケートをとれ。生活が安定しないと、精神的な余裕もうまれないと思う。
5. 男性20代 北上に女性が働ける環境をもっと増す。
6. 男性30代 個々の独力、社会が変わるのを待つのではなく現状何ができ、何をすれば良いのか考え行動すること。
7. 男性30代 教育
8. 男性30代 税金を安くし、北上に人がいっぱい来る様にする。活気がある町
住民票とるのも高い！！いい事無しゴミ袋も高い。浄化槽補助金も出ない
所がある。
9. 男性30代 賃金の底上げで生活にゆとり
10. 男性30代 より多人数が参加できる環境を作る(整備する)。
11. 男性40代 保育所、介護施設の充実と国庫支出による低料金
12. 男性40代 市の方考えて下さい。みんなやればいいじゃないですか？
13. 男性50代 両立はできない。仕事はそういうもの。
14. 男性60代 性別と言う概念を無くする。
15. 男性60代 「男は仕事、女は家庭」これで良い
16. 女性30代 女性は外で働いても、"家事は女の仕事"といった男性の考え方は変わらないと思う。女性は365日休みなんてありません。
17. 女性40代 祖父母世代の意識、特に嫁は一番家で下の立場と思っている感覚？
18. 女性40代 男女の性差を尊重した労働内容等
19. 女性60代 第一には各人の意識の問題だと思います。話し合える仲間、さそい合える
日常の囲わりとの付き合い等々。

(12)年代別比較男性

